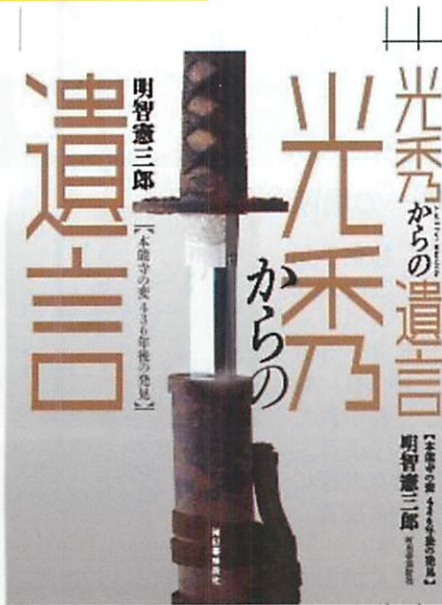


新発売！！

『光秀からの遺言 436年後の発見』

河出書房新社



『「本能寺の変」は変だ！
435年目の再審請求』 文芸社文庫



『織田信長
幻冬舎文庫

435年目の真実』



戦国史を根っこからひっくり返す！

今まで誰も気付かなかった真実が明らかに！

『本能寺の変 431年目の真実』 文芸社文庫

歴史書としては異例の40万部突破！

膨大な証拠と論理的な推理から書き上げられた本能寺の変の全貌を解く検事調書。想像を超える広がりとおもしろさに驚愕し、やがて深く納得する。

読者書評

- ・ズバリ「本能寺の変」の謎を解いてしまった本。
- ・もう完璧な理論展開。文句なく面白い。
- ・とてもわかりやすい。期待を越える良書。
- ・当時を生きた人々の緊張感が伝わってくる。
- ・ここまで綿密な研究にふれられて幸せ。



秀吉がねつ造し、軍記物が汚染した戦国史を今一度洗濯いたし申し候 (憲)

京都東山三条白川筋 明智光秀公首塚 参詣案内



明智光秀公首塚 本物の遺骨が納められた唯一の場所

地下鉄東西線東山駅下車し、白川沿いに徒歩1分。和菓子屋餅寅の角を左折して、わずか20歩に祠があります。この祠に光秀公の遺骨と木像が祀られています。

公家の吉田兼見の日記『兼見卿記』には、天正十年(1582)六月十六日光秀公の遺骸が本能寺に曝され、二十三日に首塚が「栗田口の東路次の北」に築かれて埋葬されたと書かれています。一方、京都町奉行所与力を務めた神澤貞幹の『翁草』には明和八年(1771)春頃、「栗田口の東の北側の人家の裏」にある光秀の墓のある屋敷を光秀子孫とされる「能役者笛 明田理右衛門」が譲り受けたことが書かれています。

その後、理右衛門は京都を去り、この墓を所縁ある人が引取って守って来たのが現在の首塚。理右衛門の6代後裔が明智憲三郎です。



和菓子屋餅寅

250年も首塚を守ってきた餅寅の光秀饅頭やとろける大福をお召しあがりください。
〒605-0061 京都市東山区梅宮町475 TEL:075(561)2806



東山三条白川庵

餅寅の並びには一棟貸しの京町屋の宿があります。由緒ある町家を改装し、水回りは最新設備で快適です。2階建て和室四室あり、大人数の方が割安。一泊朝食付きで、2名2万8千円～9名7万円から。素泊まりもできます。京町屋の風情をご満喫ください。お問い合わせ・ご予約は餅寅もしくは下記URLへ
<http://shirakawa-an.jp/>

周辺のハイキングコースには祇園、八坂神社、知恩院、平安神宮、南禅寺、琵琶湖疏水、蹴上インクライン(桜の写真)など名所旧跡がたくさんあります。



TBS「世界ふしぎ発見」で話題沸騰の明智憲三郎著作『本能寺の変 431年目の真実』文芸社文庫

40万部突破! 秀吉の捏造を光秀の子孫が暴く!
『織田信長 四三三年目の真実』幻冬舎
誰も知らなかった信長の決断の論理が今明らかに!
『「本能寺の変」は変だ!』文芸社
定説が見事に崩壊! あなたも歴史捜査してみよう!